

企業と地域を結ぶ情報コミュニケーション誌

うめナビ

2014.6
Vol.27

記念日・祝い事・お見舞い…365日対応! 折々の気持ちをお花に託して伝えます

フローリストストウ

フローリストストウ(港区南青山、青山稚子社長、03・3401・7101)は、明治25年の創業から生花販売を手がけ、今年で123年目を迎える。

記念日の贈り物、和菓子やタオルなどとコラボしたギフトセットをはじめとする個人向けのサービスはもちろん、企業向けの新規開店、移転、転勤祝いなどロビー・エントランスのディスプレイやイベント装飾といった大量出荷まで、全国へ花の手配を承っている。実店舗を構えない代わりに、電話やメールで受け付けたご注文に即日配達で対応できる点が同社の最大の強みだ。

70〜80年と長くお付き合いしている法人先もあるほど、お客様からの信頼も厚い。花は突然必要になるケースも多い。例えば、予定していた会食を急にキャンセルしなくてはならない

場合、ホテル・レストランなど指定のお届け先に超特急でお花をお持ちして先方に謝罪の気持ちを伝えたり、直接渡すのはちょっと気恥ずかしい奥様のお誕生日、お仕事でお留守の際に奥様へそっとお届けしたり、手軽にお花をプレゼントする習慣としてぜひ一度お試しください。



同社では、税別価格3,500円から、「種類」「用途」「イベント」それぞれお客様のご要望に合わせてお選びいただけるよう、多彩な花々をラインナップしている。添えたい一言を花弁にプリントしたメッセージフラワーなど、さまざまなアレンジギフトにも対応している。日本全国送料無料、365日24時間年中無休で注文を受け付けている(配達時間は9時〜19時)ので、お花のご用命はフリーダイヤル・0120・241878、もしくはホームページ:www.41878.jpへ。



白ばらの花弁に一言メッセージを添えて...

切る、削る、磨く ものづくりへの情熱が生んだ 世界最高峰のケイヒンブランド

京浜工業所

京浜工業所(品川区東大井、内田由美子社長、03・3761・2131)は、昭和16年の創立以来、切る、削る、磨く、工程における限らない可能性を追求し、すぐれた製品を提供することにより、「お客様、社会、地球を輝かせ、社員も生き生き輝く企業」をモットーに、最高の製品づくりをめざし日々奮闘している。

国内で初めて軸付砥石の製造に成功した同社は、研削砥石、ダイヤモンド工具を「ケイヒントイシ」「ケイヒンダイヤ」のブランドで、自動車メーカーをはじめあらゆる産業分野の企業に直販している。

同社の特長は、開発、製造、営業の連携および高精度かつ高効率の生産が可能なシステム構築などの体制整備のもと行われる世界最高レベルの製品づくりに向けた技術開発であり、近年はダイヤモンド工具による微細加工に力を入れている。今回、任意曲線刃先形状の



内田副社長と佐藤工場長(右)



同社のダイヤモンド・CBNホーニング砥石で表面加工を行った製品の数々



単結晶ダイヤモンドバイト

極微細総型ダイヤモンドの開発に成功した。微細形状を精度150nmに仕上げたこの超精密バイトは、世界一の水準を誇る。今後、省エネディスプレイにおける微細な凸凹形状をもたせたフィルム加工など、多様なものづくり分野での活用が期待できる。

平成26年3月経済産業省より「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定されたことをはじめとするさまざまな受賞歴が、同社の技術力に対する高評価の証だ。「これからも新しいことに挑戦し、日本のものづくりの発展に尽力したい」と、内田社長は無限の可能性を追求し続ける同社の姿勢を熱く語ってくれた。

<p>商社 13先</p>	<p>スーパー・小売・百貨店 24先</p>	<p>メーカー 18先</p>	<p>マスコミ 59先</p>	<p>教育(大学・専門学校) 31先</p>	<p>公共機関 17先</p>	<p>ホテル 14先</p>	<p>金融 51先</p>	<p>建設関連 20先</p>	<p>システム関連 11先</p>	<p>その他 74先</p>	<p>合計 332先</p>
-------------------	----------------------------	---------------------	---------------------	----------------------------	---------------------	--------------------	-------------------	---------------------	-----------------------	--------------------	---------------------------

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

デジタルメディアと連携した2nd START 「信頼」と「誠意」と「笑顔」を モットーに、一生一度の作品を

西桜印刷

西桜印刷(港区東麻布、両角治
恵社長、03・3568・2543)
は、現在の「築地虎ノ門トンネル」
虎ノ門出入口の真上にあたる場所
で、昭和42年に設立された。昭和60
年、新社屋完成に伴い東麻布に移
転。競合の激しい都心で、POPや
ディスプレイなど、商業印刷の周
辺領域を含む総合印刷サービスを
展開してきた。



両角社長を囲んで、従業員の皆さん



作業中の工場内

ここ数年、ネット受注などで短
納期・低価格の印刷サービスを提
供する業者も増えているが、同社
取締役は「セルフガソリンスタ
ンと同様、目先の利便性で仮にお客
様がいったん離れたとしても、必
ず戻ってくる」と自社のサービス
に自信を見せる。単なるデータの
「出力屋」ではなく「印刷屋」として
のプロの意地、請けた仕事に決し
て妥協はしない。お客様のものとへ
何度も足を運び、細部まで打ち合
わせをくり返して「満足」や「笑顔」
につながる仕事を徹底する。その
結果、依頼主は「お客様」から「ファ
ン」に変わるのだという。西桜印刷

十訓第一条「すべての仕事は、依頼
主にとって一生一度の作品と肝に
銘じよ」からも、一つひとつの仕事
に対し「お客様本位」を追求する同
社の姿勢が窺える。

また、同社は商業印刷のほか、
通信教育のテキストをはじめ、大
学から小中学校に至るまで各種教
育機関の教材を長年にわたり手が
けている。短大や幼児教育の研究
所で教鞭をとる役員が先導して、
教育現場を包括的にサポートする
「学校支援事業部(仮称)」の立ち上
りも計画されている。

ヴィンテージバイク専門店 五感すべてを研ぎ澄ませながら 走るバイクで人生をより豊かに

リトルウィング
エンジニアリング



洋画を連想するような店先



バイク一筋! 大平芳弘社長

リトルウィングエンジニアリン
グ(大田区北千束、大平芳弘社長、
03・3729・4007)は、大
田区北千束の環七通り沿いに店を
構え、今年でオープン20年目を迎
えたアメリカンヴィンテージバ
イクの専門店である。店の外には
1930年代〜70年代までの
ヴィンテージバイクがずらりと並
び、店舗の外観とも相まって、オ
ールドアメリカンにタイムスリップ
したかのような錯覚を起こす。

主にハーレーダビッドソンとい
ンディアンモーターサイクル(現
在、ライセンスは別会社社所持)
というアメリカの2大バイクメー
カーの修理やメンテナンスを行
い、オイル交換やカスタマイズ、車
両販売まで幅広くライダーたちを
サポートしている。

同社最大の特長は、お客様のご
要望を外注で処理することなく、
ヘッドワークからポーリング・
ホーニングといった特殊加工を含
めた全工程を自社で行うことであ
る。「機械は正直、マシントラブル
には必ず理由がある」をモットー
に、お客様やユーザーにマシント
ラブルや処理内容をわかりやすく
伝える丁寧な対応も好評だ。

ヴィンテージバイクの魅力は、
「単なる移動手段としてではなく
バイクは一生ものという所有する
喜びと走って楽しむ喜び、そして
いじって遊ぶ喜びの3つを同時に
感じとれることだ」と大平社長は
語る。また、個性豊かで、同じバイ
クは1台として存在せず、メンテ

真心をこめたお見送り 地域に根付いた永い歴史と 新しいサービス

横山葬祭



祭壇設置例

横山葬祭(目黒区五本木、横
山奈保子社長、03・3719・
7151)は、昭和14年に先代
横山行雄が創業。昭和初期よ
り、目黒区祐天寺地区の歴史
や文化、地域に集まる人々と
ともに歩み、かたち創られた
伝統ある葬祭業者である。地
元に根付き、一つひとつのご
縁を大切に、地域社会への貢
献を担っている。

全日本葬祭業協同組合連
合会、東京都葬祭業協同組
合目黒支部に加盟する同社
では、当日の運営、式場・寺
院、霊柩車などの手配から、
仏壇・仏具の紹介、生花・花環
の無料配送、香典返しや奉書、
挨拶状の作成など、葬儀に関す
る業務全般の取扱い指定店とし
て営業している。電話受付対応
(0120・182・839)は24
時間年中無休、事前相談も無料
で承っている。

「永い歴史と新しいサービス」と
は、同社の経営理念であるとも
に、弔事の際、お客様の希望を反映
してきたものと言える。日々移り
変わるニーズを的確に捉え、培わ
れたノウハウの蓄積から、「お客
様の心」を何よりも大切に、懇
切丁寧な企画・ご提案を行ってき
た。

大切な人との永遠のお別れは、
誰もが避けては通れない、つらく
悲しい出来事である。「残された
ご家族が後悔することなく、微笑
みながら故人を送ることができま

(<http://www.yokoyama-s.co.jp/>)

横山葬祭 祐天寺駅より徒歩5分

高度な技術であらゆる 土木工事に対応 「水とともに社会に奉仕」

猿渡設備工業所



任技術者の資格を持つている者が5名おり、水道局はじめ官公庁から、地元の小中学校など公共施設、民間の会社に至るまで区の内から安定した受注を請け負っているところにも、同社の技術力の高さに対する信頼が窺える。

猿渡設備工業所(世田谷区岡本、猿渡順一社長、03・3700・2342)は、水まわり関係を中心に、道路工事や上下水道引き込み、一般土木など、多岐にわたる工事を手がける業者である。

先代の猿渡秀蔵氏が昭和48年に設立。二代目である現在の猿渡順一社長は、東京都管工事業協同組合世田谷西支部の支部長も兼任しており、業界全体のレベルを底上げすべく、日々努力を重ねている。12名いる従業員のうち、国家資格である施工管理技士および主任技術者の資格を持つている者が5名おり、水道局はじめ官公庁から、地元の小中学校など公共施設、民間の会社に至るまで区の内から安定した受注を請け負っているところにも、同社の技術力の高さに対する信頼が窺える。



工事の設計をシミュレーション

そこはまさに「卓球虎の穴」!! 大田区蓮沼の裏通り、 知る人ぞ知る名門卓球クラブ

ムーブジャパン



多摩堤通沿いの交番から真っ直ぐに突き当りの蓮華寺を右手へ

学習塾や不動産賃貸なども手がけるムーブジャパン(大田区西蒲田、神谷まさ子社長、03・3730・1818、<http://www.movejapan.com/TokyoTableTennisClub/>)は、

東急池上線蓮沼駅から徒歩3分、住宅街の一角で卓球場「東京テニスブルテニスクラブ」を経営している。

マンションの1・2階に設けられ、「え?こんなところに卓球場があるの!」と初めて訪れたら誰もが驚きそうなのその卓球場は、一見、地元の子ども相手のように見えるが、

10台常備された卓球台の一般貸出を行う一方で、会員数200名超と都内最大級の規模を誇る。同クラブ最大の特長は、何ととっても強力なコーチ陣だ。卓球界で圧倒的な強さを誇る青森山田とのパイプが強かったため、同中学女子卓球部元監督や同高校出身者、さらにはオリンピック経験者などレベルの高いコーチが揃



「皆様、ぜひ一度遊びに来てください。一緒に卓球を楽しみましょう!」

い、同クラブから世界で活躍する選手も多数輩出している。しかし、同社の根岸茂相談役が、「卓球の魅力の一つは誰でも気軽にできることですよ」と言うように、レッスンは入門者コースからオリンピックコースまで、受講者のレベルや希望に合わせて5段階用意されており、週1回から申し込むことができる。365日年末年始も無休で営業、それをサポートするスタッフの充実も人気の秘訣だろう。

「左脳を使う卓球をやると、賢くなりませす」「卓球は心が強くなければうまくなりません。昔は卓球の授業があり、卓球を通じて、自然と仲間への思いやりの心が育まれてきたものです」と、根岸相談役は卓球の魅力を情熱的に語る。同クラブの今の目標は、2カ所目のスクールを開校することだ。

横浜野本の絶品牛肉を皆様にも! おいしいお肉をより安く より多くの方に提供したい

横浜野本



横浜野本(横浜市都筑区折本町、野本和美社長、045・478・5051、<http://yokohama-nomoto.com/>)は、第三京浜港北インター出口を出てイケア方面にあり、牛肉の卸問屋、直売を営んでいる。昭和49年の創業以来、「おいしい牛肉をできるだけ安く」消費者の皆様提供することをモットーの第一に掲げている。

じっくり熟成をかけた和牛肉を直売店そのまま加工するため、新鮮で本物の味わいの食肉が卸問屋ならではのリーズナブルな価格で手に入るとあって、同社のビーフセンター直営店には休日ともなると遠方からも来店客が訪れ、大盛況である。また、昨年10月には東急横浜山スポーツガーデンの跡地に「あざみ野ガーデンズ」にも直営店をオープン、こちらも大変な人気となっている。同店では牛肉のほ



お買い得価格が目まぐるしくビーフセンター直営店

した工場にて、入荷、加工、出荷まで厳格な基準をクリアした管理体制のもと、新鮮で安全なお肉をお客様にお届けしている。「本場においしいお肉をできるだけ安く、多くの方に味わっていただきたい。この一心で毎日取組んでいます」と、野本社長が自信をもってお勧めする同社のお肉を、ぜひ皆さんにもご賞味いただきたい。

さらに、食品の安全性に対して注目の高まっている現在、同社は品質管理、衛生管理も徹底して使用し、HACCP方式を導入

お客様と共存共栄 「熟練技術者たち」と「豊富な設備」 電気通信のエキスパート!

エイコウ電子

電波伝搬調査、無線通信システムの設計監理およびネットワーク機器の保守管理、そしてLED照明管の製造販売まで：あらゆる「電気通信のエキスパート」として、持ち前の専門技術を活かして活躍している企業がある。昭和48年の設立から40年以上の業歴を有し、平成23年に横浜市青葉区に本社ビルを構えたエイコウ電子(横浜



ち上げ・引き渡し、高速道路ETCの通信設計などを行っている。現在の飛行機、自動車といった交通網は無線技術による安全な交通システムが不可欠であり、同社の高度な無線技術が活かされている。

また、環境分野やコスト削減など今後の事業展開を見越し、平成21年からLED照明管の製造販売といった新たな分野にも意欲的に参入している。

電気・通信事業において「よりよい通信とは何か」を常に考え続け、自社の確かな技術力によって自分を活かし、そしてお客様の喜びにつなげる。お客様との共存共栄の精神を持って豊かな社会を築いていきたい。これが、「Live and let live」(自分を活かし、他人を活かす)というエイコウ電子の精神である。

電波伝搬調査、無線通信システムの設計監理およびネットワーク機器の保守管理、そしてLED照明管の製造販売まで：あらゆる「電気通信のエキスパート」として、持ち前の専門技術を活かして活躍している企業がある。昭和48年の設立から40年以上の業歴を有し、平成23年に横浜市青葉区に本社ビルを構えたエイコウ電子(横浜



施工作業

専門領域のプロが集結した 歯科総合治療で 患者の美と健康をサポート

KU歯科クリニック

医療法人社団京和会の運営するKU歯科クリニック(渋谷区南平台、梅田和徳理事長、03・3477・1280)は、渋谷・青山・世田谷・銀座・成城学園・南品川の都内6カ所に診療所を構える歯科総合クリニックである。

歯科治療で大事なポイントとは、一過性の対症療法ではなく、口腔内全体のバランスを考え、総合的な治療を行うことだ。歯科疾患は複合的な原因でトラブルが起こることが多いからである。そこで、KU歯科クリニックグループでは、口腔外科、インプラント、審美治療、歯周病、矯正、麻酔、保存修復といったさまざまな専門性をもつ複数の歯科医がチームを組んで治療にあたり、高い水準でのデンタルサポートを実現している。

現在の歯科医療では、患者の立場に立った治療が求められており、削る量を最小限に抑え今ある天然の歯をできるだけ保存する「削らない治療」が重要なテーマであるとされる。予防・矯正歯科・インプラントが3本柱となるが、このインプラント治療において、同クリニックでは約1万本という豊富な実績(平成10年)をもつ。

また、患者のプライバシーに考慮して個室の診療スペースを確保しているため、子供連れの方でも周囲に気兼ねすることなく受診できる点や、お年寄りや足の不自由な方も無理なく受診できるようバリアフリーを充実させている点も、多くの患者が来院する要因のひとつだろう。歯科用CTやマイクロスコープなどの最新鋭の設備も完備している同クリニックでは、患者の信頼に応え、リラクゼーションに専念していただける環境が整備されている。

ご予約など詳しくはホームページにて(<http://www.keiwa-kai.com>)



梅田和徳理事長



プライバシーに配慮した診察室

独創的な技術を追い求めて切磋琢磨 無人化機械、再生可能エネルギー、 時代が求める「ものづくり」で社会貢献

タクマ精工

タクマ精工(海老名市社家、白石稜威男社長、046・239・0755、<http://takuma-seiko.co.jp>)は、精密治具をはじめ生産設備の自動化、無人化機械の設計・製作・販売から、微生物検出装置など多岐にわたる分野を手がけてきた。社名には「皆がお互いを練り磨いて技術の向上を求め切磋琢磨しよう」と遅く、豊かな心を持つという思いがこめられている。

同社を代表する製品が、多様な技術を基に昭和60年に開発した「1台二役、人に優しい」無人搬送車である。台車型無人搬送車の先駆けとして、今日までに販売累計8,500台を超える実績と信頼を築いている。

同社の強みは、精密な各種ゲージ類から自動組立ラインまで分野にとらわれず、お客様のニーズに合わせて開発・設計・製作・販売までワンストップで提供できることだ。「各分野の協力会社とともに、いつでもどのようなご要望にもお応えできる体制を整えており、ノーと言わないタクマ精工です」と白石社長は自信を覗かせる。今まで製作してきたさまざまな試作機すべてが、一から試行錯誤を重ねた成



果、正にアイデアと技術、経験の結晶である。開発の苦労とものづくりの魅力について熱く語る社長の話は聞きなかつた。「時代が求めるものづくりに柔軟で独創的な技術で応え、お客様のお役に立てる商品開発に積極的に取り組み、社会貢献に最善を尽くします」。

時代を反映して最近では再生可能エネルギー関連のニーズが増し、工場内にとどまらずと並んだ太陽光や風力発電の試作機からデータ取得に励んでおり、実用化の目途も付いているとのこと。また、環境技術面では、京都大学の教授らと提携した土壌からセシウムを除去する装置の開発が既に実用化できているレベルにあり、今後この技術により被災地での活躍が期待されている。

TC-900WP24



信頼と実績の牽引型無人搬送車シリーズ